

科目名	総合日本語中級(日本語中級)						
科目名(英)							
単位数	14単位	時間数	179/215時間	担当者	村上・平間・丸田		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	日常的な場面に加え、より幅広い場面で使われる日本語を理解し、それを使って発信する力を養うことを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				一般的な事柄に加え、やや抽象的なテーマについて意見が述べられる。	
	○	○				多様な文章の読み書きができる。	
テキスト・教材 参考図書	平井悦子他 『中級を学ぼう中級前期』 スリーエーネットワーク 2019年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1 ～ 11	第1課 音楽と音の効果			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	12 ～ 22	第2課 いい数字・悪い数字			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	23 ～ 33	第3課 「面白い」日本			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	34 ～ 44	第4課 くしゃみ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	45 ～ 55	第5課 私の町			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	56 ～ 66	第6課 この日に食べなきゃ、意味がない!			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	67 ～ 77	第7課 お相撲さんの世界			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	78 ～ 90	第8課 第一印象			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを4回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 (3)授業への参加状況(日本事情の際の発表や作品) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				40%
	確認テスト	◎	◎				40%
	発表・作品				◎		20%
履修上の注意	出席が72回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語中級(日本事情)						
科目名(英)							
単位数	14単位	時間数	36/215時間	担当者	堀 千佳		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	日本の社会と文化を多角的にとらえ、自国と比較しながら身近な話題として体験する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○		○				
	目標 情報を正しく受信し、自分の意見や見解を正しく発信することができる。						
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	自己紹介・他己紹介			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	2	日本の漫画・アニメーション・ゲーム 今昔			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	3	日本の食文化・国との違い			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	4	ふれあい(世界から見た日本)			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	5	日本で働く			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	6	四季を考えよう①日本を旅しよう			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	7	四季を考えよう②旅の行程を考えよう			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	8	四季を考えよう③旅の行程(発表)			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	9	消しゴムスタンプを作ろう			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	10	ハガキを作ろう			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	11	扇子に絵を描こう(下書き)			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	12	扇子に絵を描こう(清書)			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	13	七夕飾り			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	14	日本の祭り「博多祇園山笠」			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	15	百人一首			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	16	日本のスポーツ 相撲・野球			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	17	日本の映画			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	18	グループ発表			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを4回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 (3)授業への参加状況(日本事情の際の発表や作品)。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				40%
	確認テスト	◎	◎				40%
	発表・作品				◎		20%
履修上の注意	出席が72回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文字語彙中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上 陽子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	日常的な場面、及びより幅広い場面で使われる日本語を理解するのに必要な語彙を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○			○	一般的な話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論などを読むのに必要な語彙が使えるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	松浦真理子他 『日本語パワードリルN2文字・語彙』 アスク出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1回・第2回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	2	第3回・第4回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	3	第5回・第6回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	4	第7回・第8回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	5	第9回・第10回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	6	第11回・第12回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	7	第13回・第14回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	8	第15回・第16回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	9	第17回・第18回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	10	第19回・第20回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	11	第21回・第22回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	12	第23回・第24回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	13	第25回・第26回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	14	第27回・第28回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	15	第29回・第30回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				79%
	小テスト	◎	◎		○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文法中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	戸部田 紀久子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	日常的な場面、及びより幅広い場面で使われる日本語を理解するのに必要な139の文型を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	目標						
	○						
		○					
テキスト・教材 参考図書	町田恵子他『TRY! 日本語能力試験N2』アスク出版 2016年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	1章 スタッフ募集のお知らせ			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	2	1章 スタッフ募集のお知らせ			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	3	2章 転任のあいさつ(1)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	4	2章 転任のあいさつ(1)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	5	2章 転任のあいさつ(2)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	6	3章 ホテルの仕事			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	7	3章 ホテルの仕事			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	8	4章 台風情報			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	9	4章 台風情報			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	10	5章 就職情報(1)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	11	5章 就職情報(2)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	12	6章 苦勞した5年間(1)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	13	6章 苦勞した5年間(2)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	14	7章 オオカミと生態系(1)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	15	7章 オオカミと生態系(2)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				70%
	小テスト	◎	◎		○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、正試験の受験の資格を与えない。						

科目名	読解中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	深町 葉子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	様々な話題についての文章を読んで、話の流れや言いたいことが理解できることを目指し、日本語能力試験N2に合格できる読解力をつける。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					説明文や指示文を読んで、内容が予測できる。	
	○					評論文、解説文、エッセイ等を読んで因果関係や理由、概要や筆者の考え方などが予測できる。	
	○					複数のテキストを読み比べて、比較・統合しながら選択できる。	
	○					評論文を読んで、全体として伝えようとしている主張や意見をつかむことができる。	
○						広告、パンフレット、ビジネス文書などの情報素材の中から必要な情報を探し出すことができる。	
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子他『日本語総まとめN2読解』アスク出版 2010年 小林ひとみ他『N2読解スピードマスター』Jリサーチ出版 2011年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	意見文・エッセイ・第3週2日目・第4週4日目・第1週1日目、2日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	2	意見文 ・第3週3日目、4日目 ・第1週3日目、4日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	3	説明文・エッセイ・第3週5日目・第4週1日目・第1週5日目、6日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	4	エッセイ ・第4週2日目、3日目 ・第1週7日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	5	小説 ・第4週5日目、6日目 ・第2週1日目、2日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	6	意見文・説明文・第3週1日目、6日目 ・第2週3日目、4日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	7	論説文 ・第6週1日目、2日目 ・第2週5日目、6日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	8	論説文 ・第6週3日目、4日目 ・第2週7日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	9	論説文 ・第6週5日目、6日目 ・スピードマスター[短文]				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	10	論説文 ・第6週7日目・第4週7日目・スピードマスター[中文]				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	11	統合理解 ・第5週7日目・第3週7日目・スピードマスター[長文]				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	12	新聞見出し ・第5週1日目、2日目 ・スピードマスター[統合理解]				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	13	新聞グラフ ・第5週3日目、4日目 ・スピードマスター[短文]				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	14	新聞書評 ・第5週5日目、6日目 ・スピードマスター[中文]				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	15	総復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
評価方法	(1)定期正試験(筆記)を実施する。(2)模擬試験(筆記)を2回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	模擬試験	○	○				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	聴解中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	丸田 有希		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	この授業では①JLPT N2に合格できる力をつけること、②試験対策にとどまらない全般的な「聴解」の力をつけることを目的とします。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				質問、依頼など短い文を聞いて、それに合う答え方が即時に判断できる。	
	○	○				話の中から指示や依頼、助言などを聞き取り、これから何をすべきかが判断できる。	
	○	○				話の中から質問されたことにポイントを絞って聞き取れる。	
	○	○				話全体の主題、話し手の意図、主張などが判断できる。	
	○	○				スキルを複合的に使って、より多くの情報を整理・統合しながら話の内容が予測できる。	
テキスト・教材 参考図書	中村かおり他 『新完全マスター聴解N2』 スリーエーネットワーク 2011年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	問題紹介(課題理解・ポイント理解・概要理解・即時応答・統合理解)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	2	音声の特徴に慣れる			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	3	即時応答のスキルを学ぶ(最初の文を理解する)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	4	即時応答のスキルを学ぶ(返事の文を考える)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	5	即時応答のスキルを学ぶ(確認問題)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	6	課題理解のスキルを学ぶ(問題形式と内容)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	7	課題理解のスキルを学ぶ(確認問題)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	8	ポイント理解のスキルを学ぶ(問題形式と内容)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	9	ポイント理解のスキルを学ぶ(確認問題)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	10	概要理解のスキルを学ぶ(問題形式と内容 話題を構造をつかむ)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	11	概要理解のスキルを学ぶ(問題形式と内容 主題・意見・主張・意図)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	12	概要理解のスキルを学ぶ(確認問題)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	13	統合理解のスキルを学ぶ(問題形式と内容)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	14	統合理解のスキルを学ぶ(確認問題)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	15	模擬試験			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
評価方法	(1)模擬試験を2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	模擬試験	○	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	会話中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	藤井 百合子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	学生が日常生活で経験する様々な場面において周囲と摩擦を起こさずにコミュニケーションができるように①一般的によく使用されるフレーズを知ること ②謝罪・依頼などいくつかの会話のパターンを知り、それを使って自分で文を作ること ③日本の習慣・文化についての知識を得ることをねらいとする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		場面や相手に応じた言葉遣い・会話運用ができる	
	○			○		自分の置かれた状況が説明できる	
				○		なめらかな会話(イントネーション・文末等)ができる	
				○		適切な相づち・フィラーができる	
	○		○		日本の習慣・文化を受容できる		
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	印象に残る自己紹介をする／人を紹介する				復習、日常生活で実践	
	2	誘う／断る				復習、日常生活で実践	
	3	たずねる(聞き返す／意味を聞く)				復習、日常生活で実践	
	4	友達同士で話す(省略して話す／友達言葉で話す)				復習、日常生活で実践	
	5	希望を言う(ソフトに主張する／助詞でニュアンスを伝える)				復習、日常生活で実践	
	6	申し出る(手伝いを申し出る／丁寧に申し出る)				復習、日常生活で実践	
	7	敬語を知る(敬語の種類／敬語の使い分け)				復習、日常生活で実践	
	8	敬語を使う(敬語の使い分け／丁寧語を使うポイント)				復習、日常生活で実践	
	9	頼む／断る				復習、日常生活で実践	
	10	ほめる／謙遜する				復習、日常生活で実践	
	11	アドバイスをする／もらう				復習、日常生活で実践	
	12	謝る(「すみません」を使い分ける／感じの良い謝り方)				復習、日常生活で実践	
	13	部屋探し(条件や理由を言う／できることを言う)				復習、日常生活で実践	
	14	居酒屋(注文する／情報を伝える)				復習、日常生活で実践	
	15	病院(症状を言う／お見舞いを言う)				復習、日常生活で実践	
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。(2)授業中の発表を、滑らかさ、発音・イントネーション、言葉遣い、積極性で評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					50%
	発表	◎	○		◎	◎	50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	作文中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上 陽子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	初級で学んだ言葉や文法を使って、自分の言いたいことを正確にわかりやすく書くことを学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					初級で学んだ言葉や文法を正確に使うことができる。	
	○	○				効果的な構成と適切な表現で文章を書くことができる。	
		○				課題に沿って根拠とともに主張を述べるができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	私の取扱説明書			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
	2	私の好きなもの・こと			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
	3	日本に来てわかったこと			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
	4	賛成意見・反対意見			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
	5	H30年度第1回日本留学試験記述問題 書いてみよう			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
	6	H30年度第1回日本留学試験記述問題 フィードバック			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
	7	H30年度第2回日本留学試験記述問題 書いてみよう			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
	8	H30年度第2回日本留学試験記述問題 フィードバック			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
	9	物事の仕組み・手順・方法			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
	10	共通点・類似点・相違点			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
	11	座右の銘 書いてみよう			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
	12	座右の銘 フィードバック			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
	13	スピーチ原稿 テーマを考えよう			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
	14	スピーチ原稿 書いてみよう			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
15	スピーチ原稿 より効果的に書き直そう			授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)			
評価方法	(1)授業の中で作文を5回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	作文		◎		◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	日本語試験対策中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上 陽子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語が理解できるようになることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○			○	幅広い話題について書かれた、論旨が明快な文章を読んで、文章の内容を予測することができる。	
	○	○			○	一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を予測することができる。	
	○	○			○	幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を予測したり、要旨を把握したりできる。	
テキスト・教材 参考図書	青山豊他 『日本語能力試験N2予想問題集改訂版』 国書刊行会 2016年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	問題1 漢字読み 問題2 文脈規程				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	2	問題3 言い換え類義				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	3	問題4 用法				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	4	問題5 文の文法1:文法形式の判断				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	5	問題6 文の文法2:文の組み立て				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	6	問題7 文章の文法				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	7	問題8 内容理解:短文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	8	問題9 内容理解:中文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	9	問題10 内容理解:長文				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	10	問題11 統合理解				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	11	問題12 主張理解				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	12	問題13 情報検索 聴解:課題理解				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	13	聴解:ポイント理解				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	14	聴解:概要理解				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
	15	聴解:即時応答・統合理解				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)	
評価方法	(1)模擬試験を2回実施する。(2)日本語能力試験N2またはN3の成績以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				50%
	日本語能力試験	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語中級(日本語中級)						
科目名(英)							
単位数	14単位	時間数	179/215時間	担当者	村上・平間・丸田		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	日常的な場面に加え、より幅広い場面で使われる日本語を理解し、それを使って発信する力を養うことを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				一般的な事柄に加え、やや抽象的なテーマについて意見が述べられる。	
	○	○				多様な文章の読み書きができる。	
テキスト・教材 参考図書	平井悦子他『中級を学ぼう中級前期』スリーエーネットワーク 2019年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1 ～ 11	第1課 音楽と音の効果			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	12 ～ 22	第2課 いい数字・悪い数字			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	23 ～ 33	第3課 「面白い」日本			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	34 ～ 44	第4課 くしゃみ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	45 ～ 55	第5課 私の町			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	56 ～ 66	第6課 この日に食べなきゃ、意味がない!			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	67 ～ 77	第7課 お相撲さんの世界			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
	78 ～ 90	第8課 第一印象			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと。また、授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを4回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 (3)授業への参加状況(日本事情の際の発表や作品) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				40%
	確認テスト	◎	◎				40%
	発表・作品				◎		20%
履修上の注意	出席が72回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語中級(日本事情)						
科目名(英)							
単位数	14単位	時間数	36/215時間	担当者	堀 千佳		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	日本の社会と文化を多角的にとらえ、自国と比較しながら身近な話題として体験する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○		○				
	目標 情報を正しく受信し、自分の意見や見解を正しく発信することができる。						
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	自己紹介・他己紹介			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	2	日本の漫画・アニメーション・ゲーム 今昔			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	3	日本の食文化・国との違い			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	4	ふれあい(世界から見た日本)			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	5	日本で働く			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	6	四季を考えよう①日本を旅しよう			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	7	四季を考えよう②旅の行程を考えよう			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	8	四季を考えよう③旅の行程(発表)			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	9	消しゴムスタンプを作ろう			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	10	ハガキを作ろう			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	11	扇子に絵を描こう(下書き)			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	12	扇子に絵を描こう(清書)			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	13	七夕飾り			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	14	日本の祭り「博多祇園山笠」			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	15	百人一首			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	16	日本のスポーツ 相撲・野球			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	17	日本の映画			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
	18	グループ発表			授業で扱うテーマを参照し、予習したことをノートにまとめること(30分)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを4回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 (3)授業への参加状況(日本事情の際の発表や作品)。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				40%
	確認テスト	◎	◎				40%
	発表・作品				◎		20%
履修上の注意	出席が72回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文字語彙中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上 陽子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	日常的な場面、及びより幅広い場面で使われる日本語を理解するのに必要な語彙を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○			○	一般的な話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論などを読むのに必要な語彙が使えるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	松浦真理子他 『日本語パワードリルN2文字・語彙』 アスク出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1回・第2回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	2	第3回・第4回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	3	第5回・第6回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	4	第7回・第8回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	5	第9回・第10回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	6	第11回・第12回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	7	第13回・第14回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	8	第15回・第16回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	9	第17回・第18回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	10	第19回・第20回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	11	第21回・第22回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	12	第23回・第24回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	13	第25回・第26回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	14	第27回・第28回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	15	第29回・第30回			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				79%
	小テスト	◎	◎		○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文法中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	戸部田 紀久子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	日常的な場面、及びより幅広い場面で使われる日本語を理解するのに必要な139の文型を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	目標						
	○						
		○					
テキスト・教材 参考図書	町田恵子他『TRY! 日本語能力試験N2』アスク出版 2016年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	1章 スタッフ募集のお知らせ			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	2	1章 スタッフ募集のお知らせ			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	3	2章 転任のあいさつ(1)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	4	2章 転任のあいさつ(1)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	5	2章 転任のあいさつ(2)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	6	3章 ホテルの仕事			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	7	3章 ホテルの仕事			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	8	4章 台風情報			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	9	4章 台風情報			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	10	5章 就職情報(1)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	11	5章 就職情報(2)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	12	6章 苦労した5年間(1)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	13	6章 苦労した5年間(2)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	14	7章 オオカミと生態系(1)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
	15	7章 オオカミと生態系(2)			指定された範囲を予習し、授業後は復習、宿題をする。(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				70%
	小テスト	◎	◎		○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、正試験の受験の資格を与えない。						

科目名	読解中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	深町 葉子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	様々な話題についての文章を読んで、話の流れや言いたいことが理解できることを目指し、日本語能力試験N2に合格できる読解力をつける。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					説明文や指示文を読んで、内容が予測できる。	
	○					評論文、解説文、エッセイ等を読んで因果関係や理由、概要や筆者の考えなどが予測できる。	
	○					複数のテキストを読み比べて、比較・統合しながら選択できる。	
	○					評論文を読んで、全体として伝えようとしている主張や意見をつかむことができる。	
○					広告、パンフレット、ビジネス文書などの情報素材の中から必要な情報を探し出すことができる。		
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子他 『日本語総まとめN2読解』 アスク出版 2010年 小林ひとみ他 『N2読解スピードマスター』 Jリサーチ出版 2011年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	意見文・エッセイ・第3週2日目・第4週4日目・第1週1日目、2日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	2	意見文 ・第3週3日目、4日目 ・第1週3日目、4日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	3	説明文・エッセイ・第3週5日目・第4週1日目・第1週5日目、6日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	4	エッセイ ・第4週2日目、3日目 ・第1週7日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	5	小説 ・第4週5日目、6日目 ・第2週1日目、2日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	6	意見文・説明文・第3週1日目、6日目 ・第2週3日目、4日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	7	論説文 ・第6週1日目、2日目 ・第2週5日目、6日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	8	論説文 ・第6週3日目、4日目 ・第2週7日目				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	9	論説文 ・第6週5日目、6日目 ・スピードマスター[短文]				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	10	論説文 ・第6週7日目・第4週7日目・スピードマスター[中文]				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	11	統合理解 ・第5週7日目・第3週7日目・スピードマスター[長文]				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	12	新聞見出し ・第5週1日目、2日目 ・スピードマスター[統合理解]				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	13	新聞グラフ ・第5週3日目、4日目 ・スピードマスター[短文]				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	14	新聞書評 ・第5週5日目、6日目 ・スピードマスター[中文]				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
	15	総復習				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)	
評価方法	(1)定期正試験(筆記)を実施する。(2)模擬試験(筆記)を2回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	模擬試験	○	○				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	聴解中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	丸田 有希		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	この授業では①JLPT N2に合格できる力をつけること、②試験対策にとどまらない全般的な「聴解」の力をつけることを目的とします。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				質問、依頼など短い文を聞いて、それに合う答え方が即時に判断できる。	
	○	○				話の中から指示や依頼、助言などを聞き取り、これから何をすべきかが判断できる。	
	○	○				話の中から質問されたことにポイントを絞って聞き取れる。	
	○	○				話全体の主題、話し手の意図、主張などが判断できる。	
	○	○				スキルを複合的に使って、より多くの情報を整理・統合しながら話の内容が予測できる。	
テキスト・教材 参考図書	中村かおり他 『新完全マスター聴解N2』 スリーエーネットワーク 2011年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	問題紹介(課題理解・ポイント理解・概要理解・即時応答・統合理解)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	2	音声の特徴に慣れる			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	3	即時応答のスキルを学ぶ(最初の文を理解する)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	4	即時応答のスキルを学ぶ(返事の文を考える)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	5	即時応答のスキルを学ぶ(確認問題)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	6	課題理解のスキルを学ぶ(問題形式と内容)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	7	課題理解のスキルを学ぶ(確認問題)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	8	ポイント理解のスキルを学ぶ(問題形式と内容)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	9	ポイント理解のスキルを学ぶ(確認問題)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	10	概要理解のスキルを学ぶ(問題形式と内容 話題を構造をつかむ)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	11	概要理解のスキルを学ぶ(問題形式と内容 主題・意見・主張・意図)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	12	概要理解のスキルを学ぶ(確認問題)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	13	統合理解のスキルを学ぶ(問題形式と内容)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	14	統合理解のスキルを学ぶ(確認問題)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	15	模擬試験			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
評価方法	(1)模擬試験を2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	模擬試験	○	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	会話中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	藤井 百合子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	学生が日常生活で経験する様々な場面において周囲と摩擦を起こさずにコミュニケーションができるように①一般的によく使用されるフレーズを知ること ②謝罪・依頼などいくつかの会話のパターンを知り、それを使って自分で文を作ること ③日本の習慣・文化についての知識を得ることをねらいとする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		場面や相手に応じた言葉遣い・会話運用ができる	
	○			○		自分の置かれた状況が説明できる	
				○		なめらかな会話(イントネーション・文末等)ができる	
				○		適切な相づち・フィラーができる	
	○		○		日本の習慣・文化を受容できる		
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	印象に残る自己紹介をする／人を紹介する				復習、日常生活で実践	
	2	誘う／断る				復習、日常生活で実践	
	3	たずねる(聞き返す／意味を聞く)				復習、日常生活で実践	
	4	友達同士で話す(省略して話す／友達言葉で話す)				復習、日常生活で実践	
	5	希望を言う(ソフトに主張する／助詞でニュアンスを伝える)				復習、日常生活で実践	
	6	申し出る(手伝いを申し出る／丁寧に申し出る)				復習、日常生活で実践	
	7	敬語を知る(敬語の種類／敬語の使い分け)				復習、日常生活で実践	
	8	敬語を使う(敬語の使い分け／丁寧語を使うポイント)				復習、日常生活で実践	
	9	頼む／断る				復習、日常生活で実践	
	10	ほめる／謙遜する				復習、日常生活で実践	
	11	アドバイスをする／もらう				復習、日常生活で実践	
	12	謝る(「すみません」を使い分ける／感じの良い謝り方)				復習、日常生活で実践	
	13	部屋探し(条件や理由を言う／できることを言う)				復習、日常生活で実践	
	14	居酒屋(注文する／情報を伝える)				復習、日常生活で実践	
	15	病院(症状を言う／お見舞いを言う)				復習、日常生活で実践	
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。(2)授業中の発表を、滑らかさ、発音・イントネーション、言葉遣い、積極性で評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					50%
	発表	◎	○		◎	◎	50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	作文中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上 陽子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	初級で学んだ言葉や文法を使って、自分の言いたいことを正確にわかりやすく書くことを学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					初級で学んだ言葉や文法を正確に使うことができる。	
	○	○				効果的な構成と適切な表現で文章を書くことができる。	
		○				課題に沿って根拠とともに主張を述べるができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	私の取扱説明書				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
	2	私の好きなもの・こと				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
	3	日本に来てわかったこと				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
	4	賛成意見・反対意見				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
	5	H30年度第1回日本留学試験記述問題 書いてみよう				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
	6	H30年度第1回日本留学試験記述問題 フィードバック				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
	7	H30年度第2回日本留学試験記述問題 書いてみよう				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
	8	H30年度第2回日本留学試験記述問題 フィードバック				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
	9	物事の仕組み・手順・方法				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
	10	共通点・類似点・相違点				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
	11	座右の銘 書いてみよう				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
	12	座右の銘 フィードバック				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
	13	スピーチ原稿 テーマを考えよう				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
	14	スピーチ原稿 書いてみよう				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)	
15	スピーチ原稿 より効果的に書き直そう				授業終了後に示す課題について作文を作成すること (1.5時間)		
評価方法	(1)授業の中で作文を5回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	作文		◎		◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	日本語試験対策中級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上 陽子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)2年						
授業概要	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語が理解できるようになることを目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○			○	幅広い話題について書かれた、論旨が明快な文章を読んで、文章の内容を予測することができる。	
	○	○			○	一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を予測することができる。	
	○	○			○	幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を予測したり、要旨を把握したりできる。	
テキスト・教材 参考図書	青山豊他 『日本語能力試験N2予想問題集改訂版』 国書刊行会 2016年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	問題1 漢字読み 問題2 文脈規程			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	2	問題3 言い換え類義			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	3	問題4 用法			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	4	問題5 文の文法1:文法形式の判断			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	5	問題6 文の文法2:文の組み立て			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	6	問題7 文章の文法			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	7	問題8 内容理解:短文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	8	問題9 内容理解:中文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	9	問題10 内容理解:長文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	10	問題11 統合理解			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	11	問題12 主張理解			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	12	問題13 情報検索 聴解:課題理解			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	13	聴解:ポイント理解			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	14	聴解:概要理解			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
	15	聴解:即時応答・統合理解			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(1時間)		
評価方法	(1)模擬試験を2回実施する。(2)日本語能力試験N2またはN3の成績以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	◎	◎				50%
	日本語能力試験	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						